

■ アクセスマップ



# KONAN

## Rehabilitation-Therapist

### 募集案内

- 理学療法士 Physical Therapist
- 作業療法士 Occupational Therapist
- 言語聴覚士 Speech-Language-Hearing Therapist



**甲南医療センター**

神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16  
TEL 078-851-2161 / FAX 078-821-0962  
<http://www.kohnan.or.jp/kohnan/>



**六甲アイランド甲南病院**

神戸市東灘区向洋町中2-11  
TEL 078-858-1111 / FAX 078-858-1110  
<http://www.kohnan.or.jp/rokko/>



**甲南加古川病院**

加古川市神野町西条1545-1  
TEL 079-438-0621 / FAX 079-438-1258  
<http://www.kohnan.or.jp/kakogawa/>



**甲南介護老人保健施設**

神戸市東灘区向洋町中3-2-5  
TEL 078-858-1180 / FAX 078-858-2751  
[http://www.kohnan.or.jp/kohnan\\_hoken/](http://www.kohnan.or.jp/kohnan_hoken/)



**甲南訪問看護ステーション・  
甲南居宅介護支援事業所**

神戸市東灘区向洋町中3-2-5  
[甲南訪問看護ステーション]  
TEL 078-858-1366 / FAX 078-858-2861  
[甲南居宅介護支援事業所]  
TEL 078-858-1257  
[http://www.kohnan.or.jp/kango\\_station/](http://www.kohnan.or.jp/kango_station/)



公益財団法人 甲南会グループ

甲南医療センター  
六甲アイランド甲南病院  
甲南加古川病院





公益財団法人 甲南会  
常務理事/  
甲南医療センター 院長

Eisei Gu  
**具 英成**

## 病院と在宅をつなぐ 新時代のリハビリテーションの 構築に力を合わせませんか？

### 院長からの挨拶

2019年10月、甲南会グループは甲南病院と六甲アイランド甲南病院、2つの病院の機能を統合再編し、ハード（建物、医療機器など）もソフト（医療の質）も一新した高機能病院群へと変わりました。

甲南病院は、甲南医療センターと名称を改め、診療科の充実・救急医療の強化を行い、これまでと同様に、灘・東灘区だけでなく神戸市内・阪神地域の基幹病院として、質の高い医療の提供を続けてまいります。また、六甲アイランド甲南病院でも2019年11月に回復期リハビリテーション病棟を2020年2月にリハビリテーション室を新たに開設しました。

広く開放的なスペースのリハビリテーション室には充実した設備を備え、在宅復帰に向けた治療・訓練を実施することができます。こうして、病院から在宅までを切れ目なくつなぎ、急性期疾患のみならず認知症・高次脳機能障害等の様々な疾患を抱える患者様にも対応します。

さらには、2020年4月に当法人は兵庫県から、公益財団法人として認定を受けることが叶いました。この公益認定を機に、甲南会グループはより一層地域の中核病院として、地域医療を支援し、地域で完結する医療連携を進めて参ります。

皆さんの新しい知恵と力で、その一翼を担い、新しいリハビリテーション体制を築きましょう。そして、これからの時代を私達と共に歩いていきましょう。

## 公益財団法人 甲南会グループ



### 甲南医療センター(旧:甲南病院)

2019年10月、六甲アイランド甲南病院との再編・統合を行い『甲南医療センター』と改め、380床の急性期病院として稼働しました。これを機に、救急医療・周産期医療・小児医療・災害医療の4事業とともに、感覚器運動器疾患の強化を行いました。さらには、呼吸器外科等の新たに加えた25の診療科で構成され、様々な疾患への幅広い治療を行なうことができます。東灘区のみならず神戸市全域や阪神地区に渡る地域の急性期医療を担う基幹病院としての役割を果たすため、心技一体で心の深くに届く高質の医療を実践します。2022年4月には480床となり、さらに充実した医療体制となります。



### 六甲アイランド甲南病院

1992年4月、東灘区にある海上都市六甲アイランドに開院しました。2019年10月に、甲南医療センターとの再編・統合により、これまでの急性期医療は甲南医療センターへと移行し、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を有した198床の回復期医療中心の病院として再編しました。新設された「リハビリテーションルーム」では、広く開放的な空間で、急性期医療を終えた脳血管疾患や運動器疾患の患者様に、在宅復帰を叶えるための機能訓練を行なっています。また、心大血管疾患の再発予防の為に「心臓リハビリテーション」も開始しました。医師を中心とした多職種により、専門性を最大限に発揮した社会復帰を支援するための医療を行います。



### 甲南加古川病院

2000年12月、国立加古川病院から移譲を受け、199床の急性期病院として開院しました。「人工関節センター」「リハビリテーションセンター」を有し、整形外科・内科を中心とした急性期医療を行なうだけでなく、新たに開設された地域包括ケア病棟では急性期医療を終えた患者様や体調不良により自宅や施設での生活が困難になった方の短期入院の受け入れも行なっています。また、通院が困難で継続的な診療が必要な方への訪問診療も開始しました。急性期から退院後の生活の支援まで、継続した医療の提供を行います。



### 甲南介護老人保健施設

2001年11月、80名が入所可能な施設として、六甲アイランド甲南病院の南側に開設しました。在宅復帰が困難な高齢者を受け入れ、日常生活動作能力の向上を目標としたリハビリテーションや生活をより楽しく充実したものにするような作業活動により、認知症の進行予防なども実施しています。また、通所リハビリテーション(デイケア)による、高齢者の日常生活の維持の支援も行なっています。



### 甲南訪問看護ステーション・甲南居宅介護支援事業所

2001年10月、在宅復帰後の生活や療養・介護に対する不安の支援を行なうことを目的として開設しました。六甲アイランドを中心とした東灘区を活動拠点としています。在籍するケアマネジャーが、入院中から医師をはじめとした病院スタッフと連携し、スムーズな在宅復帰に必要な訪問看護、在宅リハビリテーションなどの援助、日常生活の維持を支援します。



# 甲南医療センター

## リハビリテーション部

心に届く高質の医療を  
届ける一員



### 部長からの挨拶

リハビリテーション部 部長 (脳神経内科)

**北村 重和** Shigekazu Kitamura

甲南医療センターは2019年9月に旧甲南病院から、神戸市東部地区を代表する急性期基幹病院として生まれ変わりました。現在350床余りですが、2022年の完成時には480床の病院となる予定です。「人の手で接する最善の医療を追求し実現し、やがて創設100年を迎える基幹病院として公益と継続を重視し、全職員にて新たな歴史を紡ぎ、誇り高き病院を創る」を理念として掲げています。

当院のリハビリテーションセンターもその中で重要な一翼を担っています。患者さまの運動機能障害、日常生活活動障害、コミュニケーション障害、嚥下障害などの機能改善を目的に、リハビリテーションを提供しています。リハビリ専任医師を中心に理学療法士、作業療法士、

厚生労働省より以下の認可を受けています。疾患別リハビリは全て(Ⅰ)を取得しており、多岐にわたる疾患に対してリハビリを実施しています。

- ①心大血管疾患リハビリテーション(Ⅰ) ②脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ) ③運動器リハビリテーション(Ⅰ)
- ④廃用症候群リハビリテーション(Ⅰ) ⑤呼吸器リハビリテーション(Ⅰ) ⑥がん患者リハビリテーション(Ⅰ)

今後も地域の基幹リハビリテーションセンターとして、皆様のお役に立てるよう邁進していく所存です。

言語聴覚士の3つの職種が、さまざまな疾患の急性期治療にあわせた急性期リハビリテーションを総勢33名のスタッフで行っています。

「急性期」は手術や治療をして間もない時期ですが、患者さまの状態によっては術後翌日よりリハビリテーションを開始することも少なくはありません。このような中、主治医、看護師、コメディカル部門、ソーシャルワーカーなど各職種の高い専門性を生かし、より早い時期に効果的で安全な介入ができるよう多職種で連携をとりながらチームで治療を行っています。患者さまが一日でも早く退院できるように、つねに「やさしさ」をもって機能回復に努め、ご家族さまの意向も踏まえて日常生活活動(ADL)や生活の質(QOL)の向上を目指しています。

### ■ 病院の特徴・方針

甲南医療センターは、神戸の山手にあり、明石海峡から紀伊半島まで見渡せる眺望の良い環境です。現在病院を建て替え中で、最終的には480床の急性期病院となります。神戸市東部の基幹病院として、地域の患者さまが安心して質の高いリハビリが受けられる病院を目指して日々努力をしています。



## Rehabilitation Department

### 技士長からの挨拶 技士長 内田 豊

リハビリテーションの仕事は、人に喜ばれ自分自身も高めることができるとてもいい仕事だと思います。しかし、その道のプロフェッショナルになることは容易なことではありません。本人の努力はもちろんですが、基礎からしっかりと学ぶことができる環境が必要不可欠です。当院では新人教育に力を入れており、新人の教育プログラムや症例検討会、研修会への参加、また先輩や近隣大学教員の指導やアドバイスなど、セラピストとしての成長を強く後押しします。急性期は患者さまにとって精神的にも肉体的にも非常につらい時期だと思います。私たちはしっかりと患者さまに寄り添いながら、患者さま本位の医療を実現するために各職種が一丸となってチーム医療を実践しています。みなさんと一緒に切磋琢磨しながら、質の高いリハビリを提供し、さらにいい病院にできればと期待しています。





# 六甲アイランド甲南病院

## リハビリテーション部

新しく充実した環境で  
社会復帰をサポート



### 部長からの挨拶

リハビリテーション部 部長（循環器内科）

**水谷 和郎** Kazuo Mizutani

今ではリハビリテーションの講義で『心臓リハビリテーション』の言葉を聞かなかった方はほとんどおられなくなったかと思います。今や保険診療上も心大血管リハビリテーションがかなり認識をされてきています。では、皆さんの考える心臓リハビリテーションはどんなリハビリですか。単純な理解としては、循環器の病気を持った方の社会復帰のためにリハビリを行うことで間違っていない。ただ、そのためには循環器疾患の理解ということが大前提になります。整形外科の骨折に色々な骨折があり、その対処法も様々であるのと同じで、心臓リハビリテーションもその患者さまの病気に合わせたリハビリが必要になるわけです。

また心臓リハビリテーションは、患者さまと医師、理学療法士、作業療法士だけの関係で動いていくのではなく、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、栄養士など多職

種が一丸となってリハビリを行うという、まさにチーム医療の最先端です。

そして、何よりも安全なリハビリというのが心臓リハビリテーションの目標です。循環器系の病気は急変するから怖いというイメージをしばしば聞きます。まずは循環器の知識を持って正しく怖がってください。当院の心リハでは循環器疾患の勉強会を定期的に行い、心リハスタッフのスキルアップも行っています。その知識を備えることができれば、きっと他のリハビリよりもずっと患者さまに親身に寄り添える心リハの形が見えてきます。

心臓リハビリテーションは全国的にもまだまだ発展途上です。まだまだ新しいことをチームで作り上げていくことができる余力があります。皆さんの力で甲南グループの心臓リハビリを全国有数の施設にしていきたいと思います。



### ■ 病院の特徴・方針

六甲アイランド甲南病院は2019年9月まで2次救急医療機関として機能し、急性期疾患を中心に診療を行っていました。

2020年10月以降は急性期機能を甲南医療センターへ移行、地域包括ケア病棟が増床され、11月からは新たに回復期リハビリテーション病棟を開設しました。急性期治療を終えた患者さまが、再び社会復帰をするためのリハビリテーション医療を中心とした運用を行いながら甲南医療センターと連携し、神戸市東部に根付いた地域医療に貢献していきます。

### ■ リハビリテーション部の紹介

病院の開設工事を経て、2020年2月に500㎡の開放的な「リハビリテーションルーム」がオープンしました。ここはADL訓練室の設備が充実しています。電動昇降式のキッチン、浴室訓練機器等、高さ調整をすることで、出来る限り患者さま各々の自宅環境に近い形で訓練が行えるようにしました。最も広いリハビリテーションルームも直線30mの距離を確保しており、室内も周回できるようベッドを配置、十分な歩行訓練スペースを設けています。また、遮蔽された8㎡以上の言語療法室を4室配備し、より効果的な言語療法が施行されるように環境を整備しています。

## Rehabilitation Department



### 技士長からの挨拶

技士長 **小栗 淳平**

当院には2020年5月現在、理学療法士31名・作業療法士10名・言語聴覚士5名・リハビリテーション助手2名、計48名のスタッフが在籍しています。人数は多いですが、臨床業務は3職種を2チームに等分し、各チーム間で定期的にミーティングを行っています。また、若手スタッフへのフォロー体制も整備し、職種間の患者情報について意見交換しやすい環境づくりに努めています。スタッフ構成は臨床経験5年未満が24名と最も多いですが、5年以上10年未満が10名、10年目以上が12名と約半数は臨床経験も豊富で、指導体制としては充実しています。

また、呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士、糖尿病療養指導士等の資格を取得する者も多く在籍しているので、そのような資格制度の取得を希望するスタッフをサポートすることもできます。当部署は職種間や先輩後輩も分け隔てなく、コミュニケーションが取りやすく、常に学びの姿勢を忘れない環境づくりを目指しています。現場にもぜひ一度見学にお越しください。



## 回復期リハビリテーション病棟

急性期～回復期を通して、多職種による高いレベルでのリハビリテーションを実施



### 部長代理からの挨拶

リハビリテーション部 部長代理 (リハビリテーション科)

**小林 慶通** Yoshimichi Kobayashi

皆様はじめまして。六甲アイランド甲南病院リハビリテーション科の小林です。主に回復期リハビリテーション病棟にて専従医師をしています。

当院の回復期病棟は2019年10月から発足したばかりではありますが、リハビリスタッフの方々のモチベーションは非常に高く、毎日助けられています。

当院では甲南医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、神鋼記念病院、神戸赤十字病院など神戸近辺の主要な救急病院からの転院を受け入れ回復期リハビリテーションに力を入れており、多種多様な疾患を経験することになります。医師、看護師、リハビリスタッフ、MSW等の多職種でのカンファレンスを定期的に行い、装具診などの専門カンファレンスも別途行いディスカッションを重ねながら患者さまへの適切なリハビリテーションを検討しています。

また循環器内科による心臓リハビリテーションも積極的に行われています。

当法人では六甲アイランド甲南病院、甲南医療センター、甲南加古川病院、甲南介護老人保健施設での人材交流や配属異動を行っており、急性期～回復期～維持期での様々なフェーズでのリハビリテーションに関わることができ、様々な臨床経験が積める環境となっています。

是非私たちと一緒に、患者様の各期に応じたリハビリテーションのあり方を経験し、より良いリハビリテーションを提供していきましょう。



### 回復期リハビリテーション病棟の紹介

六甲アイランド甲南病院の回復期リハビリテーション病棟は2020年11月に35床で開設しました。その後、病院内の開設工事を経て、2020年6月からは60床の回復期リハビリテーション病棟を新設しています。

この病棟は2フロアに分かれており、各フロアに「リハリスペース」が設けられています。療法士による治療・訓練のみならず、患者さま自身も退院に向けたトレーニングがいつでも行える環境にしています。また、リハリスペースはナースステーションと隣り合わせに配備され、リスクの少ない状況で実施できるように配慮しています。

浴室はウォークインが可能な患者さまと車いす患者さま用の浴室の2ヶ所設置され、広いスペースで安全に介助を行えるだけでなく、患者さま自身もゆったりと動作ができるようになっています。運用面では、回復期リハビリテーション病棟が開設されてから、当院の特色をどう出していくのか、医師を中心に看護師、リハスタッフ、コ・メディカル、病院事務等の多職種が互いに意見を出し合い、入院された方々がより高いレベルで社会復帰することが出来るよう取り組んでいます。

## Rehabilitation Department





# 甲南加古川病院

## リハビリテーションセンター

地域に根ざした医療提供を  
支える基盤

## Rehabilitation Center

### センター長からの挨拶

リハビリテーションセンター センター長（整形外科）

**立石 耕司** Koji Tateishi

リハビリテーションとは、身体的・精神的・社会的に最も適した生活水準の達成を可能とすることによって、各人が自らの人生を変革していくことを目指し、かつ時間を限定した過程である、と記されています。では人生を変革するためにはどのようにすべきでしょうか。あまりにも漠然としてしまい具体性に欠けているように思えます。それらを具体的に、合理的に達成していくためには、プロフェッショナルな集団によって計画的にそして柔軟性をもって目標を定めてアプローチしていく必要があります。どのような職種でもそうですが最初から完璧に事を進めることは困難です。周囲の先輩方からの指導に始まり、異なる職種の方々からのサポートを受けながら技術や知識の習得や向上に努め、定期的に行われる会議での議論・討論で成長を促す事が重要な事だと思います。当院では勉強会・学会などの発表も推奨していますので、先輩方からの研究テーマの提示やリサーチなどの指導を受け、他職種とも連携をしながら自分自身を更なる高み

へと目指すことも可能になります。

当院では人工関節センターを設けているため、手指などの小関節から膝や股関節といった大関節まで全身のありとあらゆる関節の手術に対応可能になっています。また多関節に機能障害を持っている関節リウマチの患者数も多いことから一般的な市中病院ではあまり見ることが出来ないような特殊な手術も行っています。そのような術後のリハビリテーションでは専門性を問われる技術の取得も可能になります。ただ特殊技術の取得には一般的な教科書に記載している事案だけでは対峙することは困難になりますので、そういう時にこそ共に勤務しているリハビリテーションスタッフと相談し、より良い技術獲得を行って頂ければと思います。

最後にリハビリテーションは医療を支える基盤となる分野です。リハビリテーションスタッフ個々の力によって医療業界は大きく変革することができると思います。ぜひ我々と未来の医療を変えていきましょう。



### ■ 病院の特徴・方針

甲南加古川病院は、加古川市の神野にあり、緑豊かな広大な敷地に和やかな環境で、人工関節センターを有す整形外科疾患を中心とした病院です。急性期から在宅復帰、外来に至るまでリハビリテーションを行うことができ、関節リウマチや骨粗鬆症の治療にも力を入れています。



### 副技士長からの挨拶 副技士長 小川 絹絵

「みなさんはどのようなセラピストを目指しますか？」

当院は人工関節センターを有し、変形性関節症の人工関節手術から関節リウマチの関節手術も行っています。また、地域包括ケア病棟を有し、近隣の急性期病院からのリハビリテーション対象患者さんも受け入れています。そのため、術後から回復期、生活期のリハビリテーションを行うことができ、外来リハビリテーションにも力を入れていることから、地域に根ざした医療を提供できる病院です。また、新人教育もプリセプター制をとっており、学会や研修会、勉強会への参加も積極的に支援しています。患者さまの意志を尊重し寄り添いながら、今、そして将来の患者さんの機能の低下を予防し、生活を支援する、私たちと一緒に取り組んでみませんか？

